

**【活用した資料】**

- 小学校版「心あかるく」 p.28～p.29 第一章 「年めぐり ーしりとり唄ー」 阪田 寛夫

**【学習指導要領に示されている道德の内容】**

- 4ー(5)「郷土の文化や生活に親しみ、愛着をもつ。」

**○ 生活科でのきっかけとして**

生活科では、身近な自然を観察したり、季節や地域の行事に関わったりする活動があります。四季それぞれの生活の様子や変化に気付き、自分たちの生活を工夫して、より楽しくできることを願いとしています。

そこで、生活科の指導の前に『心あかるく』p.28～p.29「年めぐり ーしりとり唄ー」を取り上げました。この「年めぐり」をきっかけにして昔からの季節の遊びや行事に先に触れさせることで、活動への意欲を高めることができました。「年めぐり」に出てくる言葉には、子供たちにとって馴染みのないものもあるので、実物や絵、写真を用いて、イメージをもたせるようにしました。また、子供たちは、日常的な遊びや学校での学習をきっかけとして自分の暮らしている郷土に愛着をもつこともあるため、教師が、四季折々の風物や行事を伝えていくことも大切です。

**○ 四季の節句や地域のお祭り、行事の際に音読して**

実際に春の節句、夏休みやお正月の折に音読させることで、一層季節や行事に親しみをもたせることができました。

また、実際に子供たちが自分で体験したことを学級で発表させたことで、それまで馴染みのなかったことも身近なこととして捉えさせ、愛着を深めさせることができました。